

		自 己 評 価			
		評価項目と具体的取組	評価指標	達成度判断基準	備考
① 組織的な学校運営	〈組織的な学校運営〉 各主任が中核となり現状課題に対する改善提案をして、教職員各々が校務に責任をもち、一丸となって学校教育目標の具現化を図る。	【成果指標】 実態把握と現状課題に対する取り組み提案がされ、組織的に対応し成果を上げている。	提案が改善工夫され成果があった割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：総務部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：7月 12月	
	〈教職員研修〉 教職員は、積極的に研修に努め、その成果を他の教職員と共有し、本校にとって有効なものを共通理解し実践に結びつけていく。	【成果指標】 紙面を伴う研修報告を行い、成果を共有して、本校にとって有効なものを実践に結びつけている。	提案を受けて実践に結びつけられた学級数が A：12学級 B：10～11学級 C：8～9学級 D：7学級以下	主担当：教育推進部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：10月 1月初め	
	〈危機管理〉 内在する学校危機を想定した研修や訓練と、日常的に危機を意識化することにより、危機の未然防止と危機に対しては迅速で適切な対応を行なう。	【成果指標】 危機を想定した研修・訓練内容を共通理解し、日常的なイメージトレーニングを通して全職員が学校危機に対応できている。	防火設備の対応が身についた職員の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：総務部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：12月	
② 確かな学力の育成	〈授業改善〉 児童の実態を把握し、効果的な指導法を図り、授業力向上に努める。	【満足度指標】 児童が意欲的に授業に臨み、学習内容を理解している。	授業が分かった、楽しいと思える児童が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教務部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：7月 12月	
	〈活用する力の育成〉 新学習指導要領を熟知し、指導方法を工夫し、児童に思考力・判断力・表現力等の活用する力を育てる授業実践をする	【成果指標】 算数科を中心に、活用する力を育成する授業実践を行なっている。	評価テスト（活用）の到達度平均が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：教育推進部 評価方法：評価テストの結果 実施時期：1月	
	〈基礎基本の習熟〉 漢字や計算の習熟学習を進め、基礎基本の学力定着を図る。	【成果指標】 漢字・計算等の習熟指導を行い、基礎基本の知識・技能の定着を図っている。	漢字・計算の評価テストの達成度平均が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教務部 評価方法：漢字-学期末の評価テスト 計算-学期末の評価テスト 実施時期：7月 12月	
③ 豊かな心の育成	〈楽しい学級〉 授業を中心に、認め合い、励まし合う人間関係を向上させ、活き活きと楽しい学級づくりをする。	【成果指標】 授業を中心に、認め合い、励まし合う人間関係が高まり、児童が楽しく学級生活を送っている。	楽しい学級だと感じている児童の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教育推進部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：6月 11月 2月	
	〈読書活動の充実〉 伝統ある読書活動を基盤に、学校の実態に合わせた取り組みを充実させ、進んで本に親しむ環境を整備し、豊かな情操を養う。	【成果指標】 朝読書の充実と「おすすめ10冊(5冊)」をすべて読み終えるよう取り組んでいる。	おすすめ10冊を読み終えた児童の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：教育推進部 評価方法：読書冊数の集計調査 実施時期：10月 1月初め	
	〈主体性の育成〉 児童が学年を越えた様々な取り組みの下で、主体的に生活目標達成に向けて取り組んだり、規範意識を高め合ったりできるように指導を工夫する。	【成果指標】 児童会を中心として、生活目標の達成や規範意識の向上に向けて、自主的な取り組みを進めている。	生活目標に対するクラスのめあてを達成できた児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：生徒指導部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：4月 9月 1月	
④ 健やかな体の育成	〈体力づくり〉 体育授業の充実とスポチャレや一校一プラン、異学年交流等年間を通した体力づくりの取り組みを進め、運動の日常化と体力の向上を図る。	【成果指標】 体育の授業を中心に、年間を通して体力づくりに、意欲的に取り組んでいる。	体育の授業を、ベストを尽くしてがんばったと感じている児童の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：健康安全部 評価方法：児童アンケート調査 実施時期：6月 11月	
	〈基本的な生活習慣の確立〉 家庭と連携して、規則正しい生活習慣の確立を図り、望ましい生活リズムを身に付けた児童を育てる。	【成果指標】 学校と家庭が連携した取り組みの中で、児童が規則正しい生活習慣を身に付けている。	6/1～/30の歯の衛生週間に、朝、昼、晩の歯みがきをしている割合が A：85%以上 B：75%以上 C：65%以上 D：65%未満	主担当：健康安全部 評価方法：歯みがきカードの集計調査 実施時期：7月	
	〈安全能力の育成〉 学校内外を問わず、危険を察知し、自分の身は自分で守る能力を育てる。	【成果指標】 児童は、日常的に安全に留意し、廊下を走らないように心掛けている。	年度当初より良くなったと感じている教師の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：健康安全部 評価方法：教師アンケート調査 実施時期：12月	
⑤ 家庭・地域との連携	〈社会性の育成〉 学校・家庭・地域が連携して、日常的に自然で明るいあいさつができる児童を育成する。	【成果指標】 学校ではもちろん、家庭や地域でも、児童が身近な人に気持ちのよいあいさつをしている。	児童が気持ちのよいあいさつを返してくれるようになってきたと感じている教師・保護者の割合が A：80%以上 B：70%以上 C：60%以上 D：60%未満	主担当：生徒指導部 評価方法：保護者アンケート調査 教師アンケート調査 実施時期：6月 11月 2月	
	〈教育活動の公開と改善〉 学校の教育活動を積極的に公開し、保護者・地域の意見を受け止め、家庭・地域と連携した信頼される学校づくりに努める。	【満足度指標】 保護者・地域の意見を学校改善に生かしている。	アンケート結果で改善を要する項目のうち、向上した項目の割合が A：全ての項目で B：8割の項目で C：6割の項目で D：5割以下の項目で	主担当：総務部 評価方法：保護者アンケート調査 実施時期：6月 1月	
	〈経営方針や教育活動の啓発〉 学校からの発信を充実させ、保護者に学校の経営方針や教育活動を伝え、理解と協力を得る。	【満足度指標】 保護者に学校の経営方針や教育活動が理解されている。	学校の方針や様子が伝わっていると感じる保護者の割合が A：90%以上 B：80%以上 C：70%以上 D：70%未満	主担当：総務部 評価方法：保護者アンケート調査 実施時期：6月 1月	

